



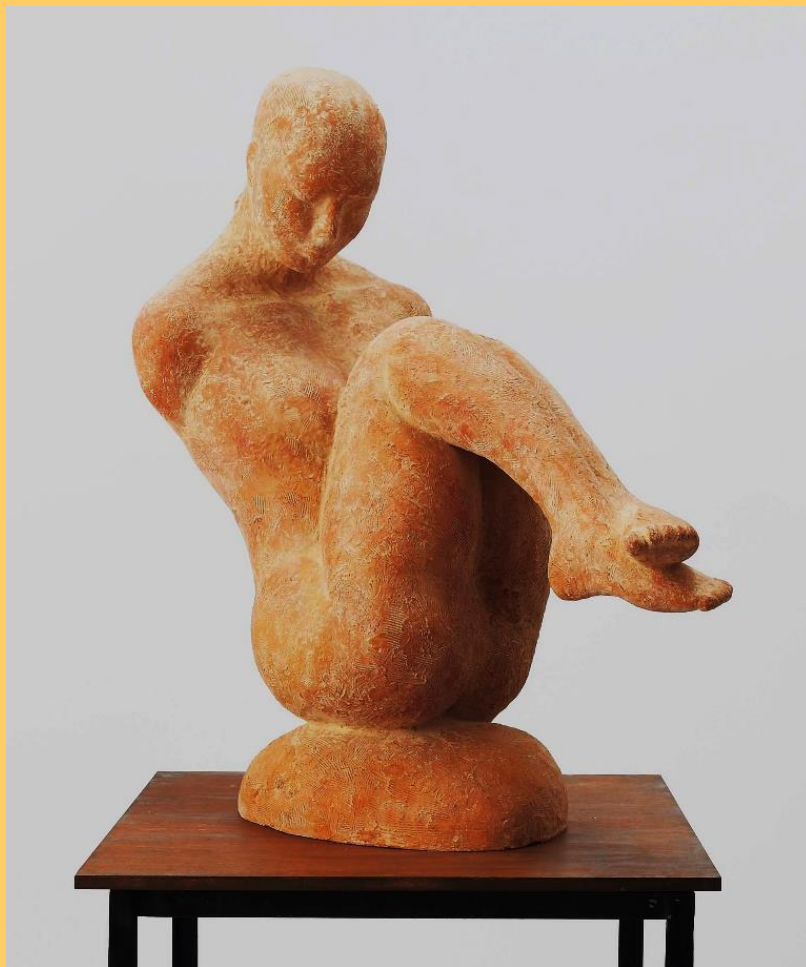
いづみ

No.81

街なかの美を守ろう

(題字 國松 明日香)

自作自選 51



《はじめに》

岡本 空

(2 ページに「作者の言葉」)

自作自選 51

作者の言葉

朝露に濡れる葉のような瑞々しさを表現しようとした作品です。いつもモチーフは女性ですが、植物的なものに着想を得ることが多いです。見てくださる方が身近に感じられる、温かみがあり、前向きなエネルギーを持った作品になればと思って制作しています。

(1986 年、岩手県盛岡市生まれ。日高管内浦河町在住)

タイトル：はじめに
制作年：2013 年
素材：石膏、着色
サイズ：H98×W56×D63 cm
設置場所：作者蔵

連載

宮の森の四季 51

本郷新記念札幌彫刻美術館

小さな美術館を守る

業務係 三枝 大悟

今年 4 月に札幌芸術の森から異動し、経理や施設管理などを担当しています。

「美術館で働いています」と自己紹介したとき、「学芸員ですか？」と聞かれることが多く、どう説明するか悩みがちでしたが、最近は「お金と建物の担当です」と、素直にシンプルに言えるようになりました。

美術館といえば展覧会や講演会、ワークショップが「花形」ですが、お客様からいただいたお金を間違いがないように数え、口座に納めることや、お客様に快適に過ごしていただける空間を作ること、私たちの大切な仕事です。大規模館なら業者さんにお任せするようなことも、「閑静な住宅街のなかにある小さな美術館」を自認する当館は、職員総出で、朝からお客様をお迎えする準備をしています。

とはいえ、自分たちだけでは力が及ばないことは専門業者さんに協力してもらいます。特に建物関係は築 40 年を超えて心配になる部分がちらほら、いや、あちこち…。貴重な作品を未来に伝える場であり続けるため、建築や造園関係の専門家たちと頭をひねって、この建物をどう維持していくか日々考えています。

そんな当館では9月10日から12月11日まで、記念館の設計者を取り上げる展覧会「建築家上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ」を開催しています。上遠野建築の魅力をご堪能いただくとともに、本郷家から歴代職員が受け継いできた記念館を今一度じっくりご覧ください。そして11月3日は恒例のサンクスデー。無料開館をはじめ、いろいろなイベントを企画します。ご来館を心からお待ちしております。

「つれづれに」

高橋ひろ子（会員）

コロナ禍では仕事上の会議も WEB となり、めっきり外出も減りました。そのような中で今年の春、「タンポポのワタ」が飛んでいることに驚きました。いつ、春が訪れたのだろうか…。季節の移り変わりに非常に無関心になっていました。春夏秋冬の喜びを目で、耳で、肌で感じていたのですが、いつの間にか忘れていたのです。この3年間余り多くのものが省略され、必要最低限のものが選ばれるようになりました。しかし、遊びの時間帯は、人の心を豊かにするものではないかと思っています。



仕事に行き詰まると「札幌市資料館」にいきます。おおば比呂司の絵を見ていると、硬くなった体がほどけていくような気がします。この館の中に、「まちの歴史展示室」がありました。たまたま映っているビデオに目を留めました。札幌の歴史、屯田兵の開拓の歴史から現代までを、当時の実写ビデオと解説を交えながら放映していました。

黒田清隆、エドウィン・ダン、旧札幌農学校演武場での様子等を映し出しているものでした。ダン氏は黒田氏を「将軍」と呼んで

いたという逸話をも語っていました。

2 時間ほど鑑賞していると涙ぐみながら札幌市の発展を喜ぶ自分を感じました。

開拓の勇士に会いたくなり真駒内へと足を運びました。めん羊を肩に背負い、一步を踏み出しているエドウィン・ダン像からは、開拓魂があふれ出ていました。



新渡戸稲造公園は小さいですが、子供が非常に多い公園です。「新渡戸稲造・萬理子両先生顕彰碑」にもたれながら遊んでいる子供たちの姿もよく見かけます。それはまるで父や母にもたれ掛かるようで、ゆったりと安心した様子でした。彫刻ともたれ掛かる人との一体感はとても自然でとても美しい風景でした。



彫刻の所在と名前が一致しないことが多くなり、「北海道デジタル彫刻美術館」を利用しています。大変便利です。「泉の像」が大通西3丁目か4丁目か分からなくなり、デジタル美術館で確認しました。青空に伸びる指先が百年、千年先の札幌市に希望を与えるようで嬉しくなりました。

北海道平和美術展と本郷新

伊藤 ^{たてお} 建雄

(特定非営利活動法人 難病支援ネット・ジャパン)

全国的には「平和展」とは「美術家平和会議」が開いている美術展のことを言います。朝鮮戦争に危機感を持った美術家たちによって1952年に第1回展が開かれています。本郷新は中心メンバーの一人として関わっていたはずですが、私の手元には正確な資料がなく、美術家平和会議に問い合わせる必要があると思います。2022年には第70周年記念平和展が東京都美術館で開催されています。また、関西や広島、岡山、静岡などをはじめ、全国各地で「平和美術展」もしくは「平和展」が開催されています。開催の内容や方式などは様々です。

「北海道平和美術展」はそれらとはまた別な経過をたどっています。

北海道では戦後の平和運動と隣接し、「生活の中のリアリズム」を標榜した「生活派美術集団」が活発な活動を展開していました。戦前からの民主化活動と労働運動の中に育った美術運動と美術家としての作家活動の両立を目指した集団と言えるでしょう。中心メンバーは大月源二、伊藤仁、中居定雄、富樫正雄などとなっています。本郷新、本田明二、木村捷司、高橋北修、景川弘道ら道内で活躍していた作家たちとの距離も非常に近いものがありました。その「生活派」も時代の流れの中であって活動が休止状態となり、解散も視野に入ってきたころ、「札幌勤労青年美術会」の呼びかけで「北海道美術サークル合同展」が札幌市民会館で開催され、特別展示として札幌に建設された「北海道ノーモア・ヒバクシャ会館」の被爆者遺留品展示や、小口一郎の版画「野に叫ぶ

人々」の札幌、北見などでの展示会開催などの活発な活動を展開しました。

その「美術サークル合同展」の3回目を迎えたころ、日本美術会の「日本アンデパンダン展」や職場美術協議会による「職場美術展」などの影響もあり、初心者でも審査を受けずに誰でも出品できる、そして「平和」の一点で集まれるという展覧会を北海道でも開きたいという声が高まってきました。そこで「生活派美術集団」と共に「平和展'74」の開催を呼びかけることとなり、実行委員会方式で開催することになりました。そして、呼びかけ人の代表を本郷新さんをお願いしたのです。「北海道平和展'75」のポスターと開催案内状、開催協力券などには「嵐の中の母子像」を使わせていただきました。実行委員長には小笠原一美さん、実務は札幌勤労青年美術会による実行体制となりました。名称を巡って「平和展」なのか「平和美術展」にするのかという議論にもなりました。その後、伊藤が難病の患者・家族団体の活動に集中するために後任の事務局長を水谷昇さんをお願いし、伊藤は長い間北海道平和展を離れることになりました。

「北海道平和美術展」は札幌市民ギャラリーでの開催となり、大きく成長して今年で第46回（22年8月10日～14日）となりましたが、今の時代に改めて、本郷新の平和への強い思いと優しさを引き継ぐ「北海道平和美術展」の大切さを痛感しています。

札幌彫刻美術館友の会 40 年、思い出すこと

(友の会元副会長) 斎藤美年子

本郷新記念札幌彫刻美術館が開館した 1981 年 6 月、当時、札幌市の観光課長が熱心に友の会の発足に努力して下さり、9 月に画壇の重鎮・國松登氏を会長に、副会長には夫の斎藤公美雄がなって友の会が誕生しました。夫は本郷新が宮の森に邸宅を建てた当時に、札幌西高の大先輩であった本郷さんにお会いし、そのことが生涯忘れ得ない思い出でした。

発足のころ、友の会は親睦会的な集まりで、道内外の美術館巡りばかりでなく、海外へのツアーも実施していました。私も台湾の台北ツアーに参加し、有名な建築物や博物館などを見学しました。中でも台北の有名な画家の広いアトリエを訪れ、見事な 50 号の動物の絵などを見て参加者が喜んだことを今でもおぼえています。

美術館がオープンしたころ、美術館への最寄りのバス停の名前は現在の「彫刻美術館入り口」ではなく、「宮の森 3 条 10 丁目」でした。これでは美術館を訪れる人には分かりづらいことから、夫たちが中心になってほぼ一年がかりで市交通局と交渉を重ね、現在の「彫刻美術館入り

口」と改名することができました。本郷新の美術館を敬愛する夫の並々ならぬ努力が実ったのです。

92 年には宮の森町内会館前に本郷の「鳥を抱く女」が設置されましたが、これにも友の会が大いに尽力しました。この彫刻は今も美術館への道案内となっています。今、名誉会長の橋本信夫さんが会長になってからはしばらく友の会で彫刻の清掃を行っていました。

2002 年、橋本さんが会長になってから会の活動方針が美術館とは異なることから友の会が美術館から独立し、財政的にも自由となりました。この時から会報の年 4 回発行をはじめ、彫刻清掃、毎年バスツアー、新年会など楽しく、活発な行動が始まりました。橋本会長の「皆でワイワイやろう」という元気な声が今も耳に残ります。すごい行動力でいつもありがたいと思っていました。至らない私でしたが、会計担当や副会長を 8 年余り務めることができました。感謝のほかありません、お礼申し上げます。

コロナにめげず 彫刻清掃真っ盛り

コロナ禍で昨年はほとんどの彫刻清掃計画を断念しなければならなかったが、今年はコロナに負けじと、清掃活動を続けている。担当の小笠原悦子さんに報告してもらった。

◇《新渡戸稲造萬里子両先生顕彰碑》

7月2日



今年度の彫刻清掃はここからスタート。新渡戸稲造記念公園には会員のほか、新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会のメンバーも参加。3年ぶりの清掃でしたが、背後のビルに守られたせいか、目立つ汚れも少なく、ワックスの効果も十分。汚れを落とし、ワックスをかけると、夫妻の顔も誇らしく輝いて見えました。

◇《泉の像》ほか（大通公園西2、3丁目）

7月10日



2回目の彫刻清掃は、大通西2、3丁目の6体。作業には札幌大通公園ロータリークラブ会員を含めて13人が参加。《泉の像》のふくらはぎに亀裂を発見！雨水などによる広がり懸念されます。清掃後、橋本信夫名誉会長からカナモトホール前の《希望》とハルニレについての話がありました。

◇《丘の上のクラーク》ほか（羊ヶ丘展望台）

7月22日



観光客が来る前にと、午前8時集合。《丘の上のクラーク》《少女と羊》《恋の街札幌歌碑》の3作品を8人で清掃。高い台座の上のクラーク像は水を浴びて気持ち良さそう。彫刻に触れることで、その足元の大きさや見上げた時の存在感を改めて確認。コートにかかったクモの糸、付近の雑草も抜いてさっぱりしたところ、観光客が到着しました。

◇《エドウィン・ダン像》ほか（真駒内地区）

8月28日

真駒内地区にある《牛と少年》《エドウィン・ダン像》《親子の像》の3作品を6人で清掃しました。《親子の像》を除く2作品には、亀裂、台座のひび割れが見られます。《エドウィン・ダン像》は、クモの巣、枯れ葉を払った後、台座の御影石をブラシで洗浄しました。清掃に先立ち、エドウィン・ダン記念館では学芸員の園家廣子さんに解説をしていただきました。高橋大作会長も、ダン像の補修について札幌市との話し合いを進めているとのこと。今後の活動へ一歩前進です。

2022年友の会バスツアー

コロナ感染者急増で中止！

2022年の友の会恒例のバスツアーが出発直前のコロナ感染者急増により、止む無く中止となった。すでに訪問先はもとより宿泊ホテルの手配もすみ出発を待ただけだっただけに参加予定者の失望の声も多かった。

今年のバスツアーは8月25、26日に旭川市、東川町（上川管内）をめぐる一泊旅行。コロナ禍のためバスの乗車定員減だったが23人の予約で満席。見学コースは初日、東川町の森のゆ・花神楽、東川複合交流施設せんとぴゅあ、隈研吾サテライト見学、翌日は中原悌二郎美術館、三浦綾子記念文学館、旭川彫刻サポート隊との交流など盛りだくさんだった。

友の会事務局では今後の感染状況を見ながら日帰りなども視野に入れ、再度のバス旅行実施を検討している。

＜過去のバスツアー記録＞

2021年（10／30）白老ウポポイ
アイヌ文化を訪ねて
2020年（9／16）白老ウポポイ
（中止）

2019年（9／9）白老・

飛生芸術祭 2019 ほか

2018年（6／6）余市・小樽

2017年（10／6）新冠ディマシオ

2016年（10／22）後志アート

竹中敏洋「永遠の像」修復へ？

豊平・月寒公園



制作後60年が経ち、老朽化が心配され、友の会が早くから修復を訴えていた札幌・月寒公園内の彫刻「永遠の像」の修復への動きが関係者の話から浮かんできた。

「永遠の像」は竹中敏洋（1931－2002）の代表的作品で、開拓者の象徴であるマサカリを手に、子供を含む男女4人の一家が力強く未来を見つめる像。札幌市と旧豊平町の合併を記念して1962年に建立された。

コンクリート像で、像全体にひび割れ、鼻などの欠落、足のふくらはぎ部分の爆裂、鉄筋の露出、腐食などかなり傷んだ状態。



友の会が 2007 年から像の破損問題を取り上げ、札幌市へ修復の要請を行ってきたが来年度の工事の可能性が出て来たという。貴重な竹中作品を後代に遺す大きなチャンスと今後の動きが注目されている。

デジタル彫刻美術館
作家プロフィール作成に本腰

協力してくれる人いませんか？

道内の彫刻約3800点をWEB上に公開した「北海道デジタル彫刻美術館」の内容充実のため、収録作品の作家紹介、作品解説の拡充が彫刻学習会を中心に本格的に始まった。

手始めに札幌市内にある作品の作家275人（グループを含む）のうち、まだ、未収録の218人を7人で分担し、一人当たり30人余の作家の略歴調査を行う。全体の統一を図るため、生没年の表記、経歴、作風、受賞歴の記載基準などを細かに決めた。今後、札幌以外の道内にある作品の作家略歴も網羅しなければならず、一人でも多くの人の協力が必要となり、協力者の参加を呼び掛けている。協力出来る人は高橋淑子さんまで連絡を。

(takahashishukugetu@yahoo.co.jp)

野外彫刻ガイド

「ぶらり札幌彫刻めぐり」

年度内発行を目指す

北海道医療新聞社の医療雑誌「ケア」に連載した「さっぽろ野外彫刻美術マップ」の冊子化が22年度内の完成を目指して進みだした。

2018年から20年にかけて同誌に24回にわたって連載した内容を再構成して、札幌市内の彫刻を楽しむガイドブック「ぶらり札幌彫刻めぐり」として刊行しようというもの。すでに札幌市の「サポートほっと基金」の助成が決まっている。

今のところ、本のサイズはB6版(128×182 cm)を予定。札幌市内を大通公園周辺、すすきの・中島公園周辺などに区分して、それぞれの地域で散策しながら鑑賞できる彫刻の作品解説、作家のプロフィールなどを掲載する。収録作品は120点余りになりそう。

橋本信夫名誉会長

友の会へ多額寄付
「デジタル彫美、運営費に

2022年度総会で会長から名誉会長に就いた橋本信夫氏からこのほど友の会に20万円の寄付があった。

橋本氏が長年にわたって構築した「北海道デジタル彫刻美術館」の運営管理費に充てることにしている。

事務局日誌▼6月9日＝定例役員会(エルプラザ)2022年度彫刻清掃計画ほか▼15日＝橋本名誉会長、高橋会長が芸術の森美術館へ新任挨拶▼29日＝会報「いずみ」80号発送▼7月6日＝彫刻学習会(エルプラザ)彫刻作家プロフィール作成▼14日＝定例役員会(エルプラザ)▼8月3日＝彫刻学習会(エルプラザ)▼9日＝旭川方面バスツアー、コロナ感染急増で中止決定▼12日＝定例役員会(エルプラザ)「永遠の像」(竹中敏洋)修復計画

編集後記▼今号では久しぶりに一泊二日のバスツアーのレポートを予定していたが、直前にコロナ感染者の急増で中止となり、編集企画の練り直しとなった。代案が浮かぶまでが気がかりだった▼今回はもう一つハプニングがあった。入手していた「風見鶏」の原稿が他誌にも同じ内容で載っていたのが分かり、差し替えとなった。代わりの筆者探しでスタッフに迷惑をかけた。また、急に原稿を頼まれ、短時間に執筆しなければならなかった書き手にも苦勞をかけた。予定していた原稿が二重投稿だったとは初めての経験。でも、何とか対処できてほっとした。(大内)

札幌彫刻美術館友の会

会報「いずみ」 No.81

2022年10月1日発行

発行人 高橋 大作

編集者 大内 和

(札幌市清田区清田5-4-6-30)

011-884-6025)

印刷 山藤三陽印刷

会報「いずみ」81号 目次

自作自選51《はじめに》	岡本 空 . . . 表紙
宮の森の四季51「快適な空間作りを」	三枝 大悟 . . . 2
風見鶏「つれづれに」	高橋ひろ子 . . . 3
寄稿「北海道平和美術展と本郷新」	伊藤建雄 . . . 4
寄稿「友の会40年、思い出すこと」	斎藤美年子 . . . 5
友の会ニュース	6-7
彫刻清掃真っ盛り／バスツアー中止に／「永遠の像」修復へ ／作家プロフィール作成本腰／「札幌彫刻めぐり」年度内発行へ ／橋本氏から寄付	
事務局日誌、目次、美術館行事予定ほか	8

本郷新記念札幌彫刻美術館行事予定

本 館

■建築家 上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ

9月10日[土]～12月11日[日]

東京を拠点に活躍していた本郷新が故郷・札幌でのアトリエ兼ギャラリーとして使用することを目的に建てたのが記念館。本展ではこれを設計した上遠野徹に焦点をあて、図面や文書、模型などを展示し、彫刻と建築との関係を検証する。

記念館

■コレクション企画展

本郷新の言説

開催中～2023年4月16日[日]

芸術論、作品論、風土論など多くの文章を出版や手記を通じて遺した本郷新。本展では、それら言葉や思想をなぞっては、彫刻や絵画に立ち返り、言説と造形との関係を検証することを試みる。

本郷新記念札幌彫刻美術館

札幌市中央区宮の森4条12丁目 ☎011-642-5709

友の会ホームページ公開中です！ご覧ください

<https://sapporo-chokoku.jp>